

令和5年度

千葉県献血推進協議会

【説明資料】

千葉県健康福祉部薬務課

目 次

報告事項

	ページ
1 令和5年度献血状況について	1
(1) 千葉県の献血状況	1
(2) 令和5年度月別献血状況(千葉県)	2
(3) 全国の献血状況	3
(4) 献血者数速報(全国・関東甲信越地域)	4
(5) 血漿分画製剤用原料血漿確保状況	5
2 令和5年度血液製剤供給状況について	6

協議事項

令和6年度千葉県献血推進計画(案)について	7
-----------------------	---

その他

1 令和6年度千葉県赤十字血液センター献血受入計画について	13
2 第59回献血運動推進全国大会の開催結果について	15

1 令和5年度献血状況について

(1) 千葉県の献血状況

- ① 本県の献血者数は令和元年度より年々増加している。なお、令和5年度12月末現在、献血者数・献血量ともに前年度同期を上回っている。
- ② 輸血時の安全性を高める観点等から、成分献血及び400mL献血を推進しており、過去5年間の献血者数を比べると400mL献血は令和2年度より増加傾向にある。また、成分献血は平成30年度まで減少傾向であったところ、令和元年度から令和3年度まで増加に転じたが、令和4年度から若干の減少傾向となっている(令和5年度12月末現在は前年度同期より若干下回っている)。

表1 千葉県の献血者数及び献血量の推移

単位:人(献血量はリットル)

区 分	成分献血	400mL献血	200mL献血	献血者数	献血量
平成30年度	58,489	152,687	7,086	218,262	82,823
構 成 比	26.8%	70.0%	3.2%		
令和元年度	65,598	149,175	7,061	221,834	84,454
構 成 比	29.6%	67.2%	3.2%		
令和2年度	70,176	150,771	5,732	226,679	87,003
構 成 比	31.0%	66.5%	2.5%		
令和3年度	73,936	150,863	5,693	230,492	101,369
構 成 比	32.1%	65.5%	2.5%		
令和4年度	73,870	152,416	5,974	232,260	102,929
構 成 比	31.8%	65.6%	2.6%		
令和5年度 (12月末現在)	54,501	117,231	4,760	176,492	78,469
構 成 比	30.9%	66.4%	2.7%		

(96,858)

(99,528)

(令和5年度 12月末現在は献血者速報から抜粋)

※献血量の算定方法変更に伴い、令和3年度より新方式を適用した。

令和元年度及び令和2年度についても参考として算定方法変更後の数値を欄外へ記載。

表2 令和4年度採血場所別献血目標及び採血者数達成率

	200mL献血			400mL献血		
	献血目標	採血者数	達成率	献血目標	採血者数	達成率
市町村	1,895	3,439	181.5%	72,438	72,742	100.4%
献血ルーム	2,052	2,535	123.5%	78,475	79,674	101.5%
合計	3,947	5,974	151.4%	150,913	152,416	101.0%

	成分献血		
	献血目標	採血者数	達成率
市町村	0	0	-
献血ルーム	77,154	73,870	95.7%
合計	77,154	73,870	95.7%

(2) 令和5年度月別献血状況(千葉県)

令和5年度12月末現在の献血状況は前年度同期に比べ、200mL献血者・400mL献血者数は増加しているが、成分献血者数は減少している。

表3 令和5年度月別献血状況

	令和4年度					令和5年度					前年対比				
	成分献血	400mL	200mL	合計	献血量	成分献血	400mL	200mL	合計	献血量	成分献血	400mL	200mL	合計	献血量
4月	5,775	11,979	522	18,276	8,020.7	6,121	12,816	486	19,423	8,653.9	346	837	-36	1,147	633.2
5月	6,049	12,855	408	19,312	8,572.2	6,257	12,834	421	19,512	8,728.6	208	-21	13	200	156.4
6月	6,047	13,024	448	19,519	8,631.0	5,779	12,672	503	18,954	8,410.1	-268	-352	55	-565	-220.9
7月	6,544	12,595	704	19,843	8,792.7	6,297	13,086	610	19,993	8,905.6	-247	491	-94	150	112.9
8月	6,073	11,961	393	18,427	8,210.2	6,117	12,692	481	19,290	8,591.2	44	731	88	863	381.0
9月	6,183	12,201	592	18,976	8,409.7	5,837	13,061	517	19,415	8,587.1	-346	860	-75	439	177.4
10月	6,422	12,763	476	19,661	8,760.7	6,089	13,318	587	19,994	8,855.5	-333	555	111	333	94.7
11月	6,241	11,988	690	18,919	8,379.2	6,031	13,056	579	19,666	8,749.4	-210	1,068	-111	747	370.2
12月	6,250	13,654	497	20,401	9,004.2	5,973	13,696	576	20,245	8,987.6	-277	42	79	-156	-16.5
1月	6,357	13,129	342	19,828	8,833.3										
2月	6,073	12,714	411	19,198	8,547.7										
3月	5,856	13,553	491	19,900	8,767.8										
月平均	6,156	12,701	498	19,355	8,577	6,056	13,026	529	19,610	8,719	-120	468	3	351	188
合計	73,870	152,416	5,974	232,260	102,929	54,501	117,231	4,760	176,492	78,469	-1,083	4,211	30	3,158	1,688
目標	77,154	150,913	3,947	232,014	103,794	69,528	153,050	4,004	226,582	100,929					
達成率	95.7%	101.0%	151.4%	100.1%	99.2%	78.4%	76.6%	118.9%	77.9%	77.7%					

(3) 全国の献血状況

- ① 過去5年間の献血者数・献血量については、令和元年度に若干増加し、その後は横ばいで推移している。
- ② 令和5年度12月末現在の状況は前年度同期に比べ400mL献血者数、200mL献血者数は若干増加しているが、成分献血者数は減少している。

表4 全国の献血者数及び献血量の推移

単位：人(献血量はリットル)

区 分	成分献血	400ml献血	200ml献血	献血者数	献血量
平成30年度	1,363,592	3,230,411	141,941	4,735,944	1,898,808
構 成 比	28.8%	68.2%	3.0%		
令和元年度	1,525,098	3,261,220	140,170	4,926,488	2,154,123
構 成 比	31.0%	66.2%	2.8%		
令和2年度	1,667,815	3,246,688	123,417	5,037,920	2,236,844
構 成 比	33.1%	64.4%	2.4%		
令和3年度	1,646,827	3,282,124	124,247	5,053,198	2,245,996
構 成 比	32.6%	65.0%	2.5%		
令和4年度	1,584,055	3,300,701	123,985	5,008,741	2,231,625
構 成 比	31.6%	65.9%	2.5%		
令和5年度 (12月末現在)	1,171,200	2,479,044	99,078	3,749,322	1,671,740
構 成 比	31.2%	66.1%	2.6%		

(令和5年度12月末現在は献血者速報から抜粋)

(4) 献血者数速報(全国・関東甲信越地域)

令和5年4月～12月

表5 全国・関東甲信越地域の献血状況速報

単位:人(献血量はリットル)

区分	成分献血	400mL献血	200mL献血	献血者数	献血量
茨城県	21,662	52,757	2,704	77,123	34,013
構成比	28.1%	68.4%	3.5%	100%	
昨年比	97.0%	99.1%	88.2%	98.1%	98.5%
栃木県	21,408	43,798	4,694	69,900	30,720
構成比	30.6%	62.7%	6.7%	100%	
昨年比	96.4%	101.8%	91.8%	99.3%	99.6%
群馬県	21,176	40,613	3,125	64,914	28,957
構成比	32.6%	62.6%	4.8%	100%	
昨年比	91.3%	95.8%	103.0%	94.6%	94.9%
埼玉県	48,236	123,581	9,440	181,257	78,886
構成比	26.6%	68.2%	5.2%	100%	
昨年比	97.0%	101.2%	111.1%	100.5%	100.5%
千葉県	54,501	117,231	4,760	176,492	78,469
構成比	30.9%	66.4%	2.7%	100%	
昨年比	98.1%	103.7%	100.6%	101.8%	102.2%
東京都	151,517	265,553	16,837	433,907	194,263
構成比	34.9%	61.2%	3.9%	100%	
昨年比	102.2%	100.8%	130.8%	102.2%	102.7%
神奈川県	86,412	154,556	7,852	248,820	112,095
構成比	34.7%	62.1%	3.2%	100%	
昨年比	100.2%	101.8%	101.1%	101.2%	101.9%
新潟県	25,858	42,063	1,272	69,193	31,880
構成比	37.4%	60.8%	1.8%	100%	
昨年比	100.7%	100.8%	92.2%	100.6%	101.2%
山梨県	9,432	17,704	562	27,698	12,622
構成比	34.1%	63.9%	2.0%	100%	
昨年比	99.1%	100.8%	88.5%	99.9%	100.5%
長野県	18,408	37,075	640	56,123	25,228
構成比	32.8%	66.1%	1.1%	100%	
昨年比	95.9%	102.5%	109.6%	100.3%	100.5%
全国	1,171,200	2,479,044	99,078	3,749,322	1,671,740
構成比	31.2%	66.1%	2.6%	100.0%	
昨年比	98.2%	100.5%	103.5%	99.9%	100.0%

(千葉県赤十字血液センター資料から)

(5) 血漿分画製剤用原料血漿確保状況

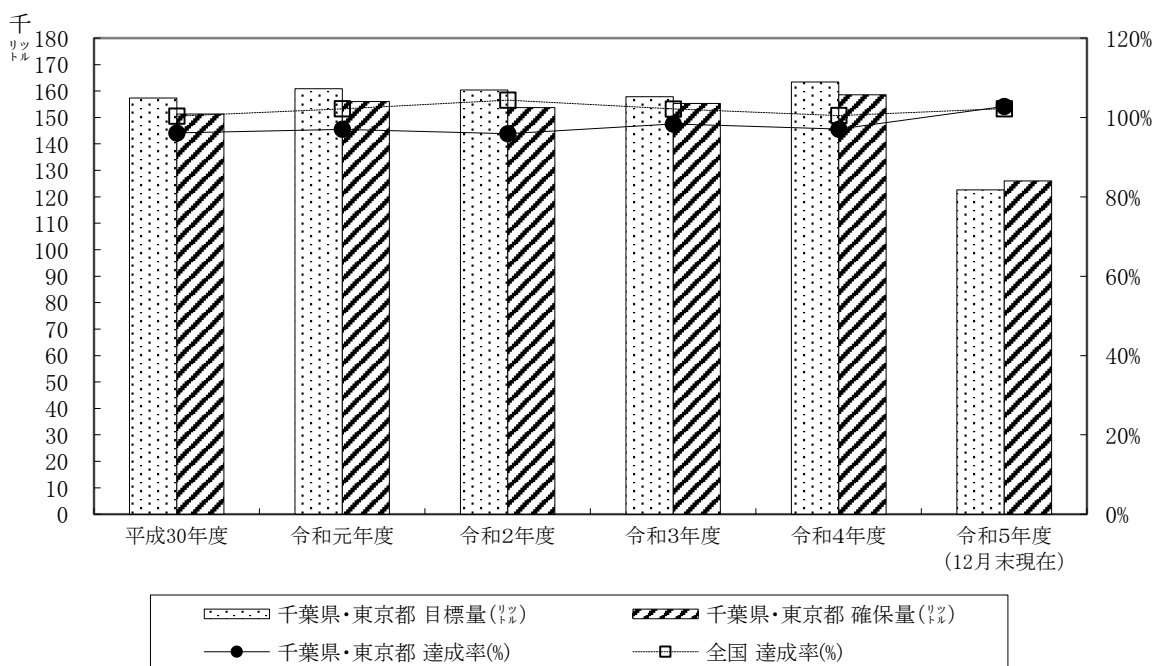
血漿分画製剤用原料血漿については、千葉県・東京都の合算で把握している。過去5年間の実績を見ると目標量には届かなかったが、令和5年度は12月末現在、目標量の102.8%の確保状況である。

表6 血漿分画製剤用原料血漿確保量の推移(千葉県・東京都、全国)

	千葉県・東京都			全国		
	目標量(リットル)	確保量(リットル)	達成率(%)	目標量(リットル)	確保量(リットル)	達成率(%)
平成30年度	157,375	151,260	96.1%	990,186	993,424	100.3%
令和元年度	160,857	156,074	97.0%	1,120,000	1,144,346	102.2%
令和2年度	160,336	153,770	95.9%	1,200,000	1,252,371	104.4%
令和3年度	157,861	155,300	98.4%	1,223,000	1,249,079	102.1%
令和4年度	163,389	158,594	97.1%	1,253,000	1,259,168	100.5%
令和5年度 (12月末現在)	122,601	126,000	102.8%	905,775	926,090	102.2%

※ 血漿分画製剤用原料血漿確保量について、千葉県は東京都に製造部門を集約しているため、目標量、確保量、達成率は一都一県の合算の数値である。(千葉県は平成22年3月から東京都に製造部門を集約、山梨県は平成14年12月から東京都に製造部門を集約していたが、平成30年2月採血分から埼玉製造所へ移管している。また令和元年7月から東京都の一部を埼玉製造所に移管している)。

図1 血漿分画製剤用原料血漿確保量の推移(千葉県・東京都、全国)



2 令和5年度血液製剤供給状況について

表7 血液製剤供給状況

(単位:換算数)

	全国					千葉県				
	全血	赤血球	血漿	血小板	製剤合計	全血	赤血球	血漿	血小板	製剤合計
平成30年度	50 (31.9%)	6,350,246 (100.2%)	2,179,996 (99.4%)	8,808,065 (99.7%)	17,338,357 (99.8%)	0 ()	302,612 (103.0%)	114,545 (109.1%)	357,725 (103.6%)	774,882 (104.2%)
令和元年度	82 (164.0%)	6,403,405 (100.8%)	2,148,406 (98.6%)	8,925,601 (101.3%)	17,477,494 (100.8%)	0 ()	308,617 (102.0%)	113,173 (98.8%)	358,045 (100.1%)	779,835 (100.6%)
令和2年度	38 (46.3%)	6,362,679 (99.4%)	2,102,827 (97.9%)	8,667,435 (97.1%)	17,132,979 (98.0%)	0 ()	319,030 (103.4%)	116,857 (103.3%)	363,950 (101.6%)	799,837 (102.6%)
令和3年度	6 (15.8%)	6,474,053 (101.8%)	2,089,681 (99.4%)	8,681,277 (100.2%)	17,245,017 (100.7%)	0 ()	325,720 (102.1%)	118,910 (101.8%)	366,385 (100.7%)	811,015 (101.4%)
令和4年度	10 (166.7%)	6,504,503 (100.5%)	2,087,095 (99.9%)	8,652,446 (99.7%)	17,244,054 (100.0%)	0 ()	330,109 (101.3%)	127,113 (106.9%)	384,665 (105.0%)	841,887 (103.8%)
令和5年度 (12月末現在)	2 (20.0%)	4,890,003 (100.6%)	1,591,814 (102.0%)	6,621,019 (101.8%)	13,102,838 (101.4%)	0 ()	249,127 (101.5%)	96,100 (101.7%)	308,745 (108.6%)	653,972 (104.7%)

* 200mL献血血液に換算した供給数

* 供給数＝千葉県内供給数(他血液センター血液を含む)

* ()内は前年度比率(令和5年度12月末現在は前年度同期との比率)

* 全国血液センター供給速報から抜粋

* 血漿製剤の単位換算数は、FFP-LR120を1単位、FFP-LR240を2単位、FFP-LR480を4単位としている。

(案)

令和6年度千葉県献血推進計画

前文

本計画は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（昭和三十一年法律第百六十号。以下「法」という。）第10条第5項の規定に基づき定める令和6年度の本県の献血の推進に関する計画である。

第1節 献血により確保すべき血液の目標量

1 県献血目標について

令和6年度は、県内において必要と見込まれる輸血用血液量及び県に割り当てられた血漿分画製剤用原料血漿確保目標量を確保するために、量としては、102,806 リットル、献血者数では、229,702 人分の献血が必要であることから、この献血量及び献血者数を目標とする。

なお、目標献血量に基づいた献血者数、採血区分及び場所ごとの目標設定は次のとおりとし、採血区分及び採血場所ごとの献血目標は表1のとおりである。

(1) 成分献血

製剤別の供給予測及び血漿分画製剤用原料血漿の確保目標量から勘案して、40,793 リットルを成分献血で確保することとする。この量は、献血者数に換算すると 72,717 人分となる。

なお、成分献血の実施場所については、成分献血が採血に時間を要するなど、献血所の環境を考慮し、全て献血ルームとする。

(2) 全血献血

成分献血による確保量を除く 62,013 リットルは、全血献血で確保する必要がある、製剤別の供給予測及び血液製剤の安全性等を勘案して、目標献血者数は 400mL 献血 153,079 人、200mL 献血 3,906 人とする。

なお、全血献血については、献血ルーム及び移動採血車により確保する。

【表1 令和6年度 献血目標】

採血区分	献血者数(人)			血液量(ℓ)
	移動採血車	献血ルーム	合計	
成分献血	0	72,717	72,717	40,793
全血献血	400mL	72,330	80,749	61,232
	200mL	2,226	1,680	781
	74,556	82,429	156,985	62,013
合計	74,556	155,146	229,702	102,806

2 市町村別献血目標について

移動採血車による献血者は、市町村別に確保することとし、移動採血車による目標献血者数を各市町村の献血可能昼間人口比率により按分し、各市町村の 400mL 献血及び 200mL 献血の目標数とする。

各市町村の献血目標は、表 2 のとおりである。

第 2 節 献血に関する普及啓発その他の前節の目標量を確保するために必要な措置に関する事項

前節の目標量を確保するために、県及び市町村は、国及び千葉県赤十字血液センター等関係者の協力を得て、地域の実情に応じた取組を通じて、住民の献血への関心を高め、献血への参加を促進する。

県は、県民の献血への理解と協力を求め、血液事業の適正な運営を確保するため、千葉県献血推進協議会を開催するものとする。

また、本協議会を活用することにより、千葉県赤十字血液センター及び血液事業に関わる民間組織等と連携して、千葉県献血推進計画の策定を始めとして、献血や血液製剤に関する教育及び啓発を検討するとともに、民間の献血推進組織の育成等を行うものとする。

なお、県及び市町村は、市町村ごとの移動採血車による献血実施計画を千葉県赤十字血液センターと十分協議して策定するとともに、献血の受入れが円滑に行われるよう、献血場所の確保等に配慮するものとする。

1 献血推進のための施策

(1) 献血推進キャンペーン・月間運動等の実施

県は、国、市町村及び千葉県赤十字血液センターの協力を得て、献血者の安定的な確保並びに安全な血液の確保を図るため、次のとおり献血推進キャンペーン・月間運動を実施するものとする。

各キャンペーン・月間中は、各種広報媒体（県民だより、市町村広報資料、千葉日報「県からのお知らせ」、千葉テレビ・bayfm78「県広報番組」、県ホームページ等）を活用する他、各地で献血キャンペーンを実施することにより、特に必要性の高い 400mL 全血献血及び近年需要の増大している血漿分画製剤の原料となる成分献血への理解と協力を呼びかけるとともに、感染症の検査を目的とした献血を行わないよう周知徹底するものとする。

また、市町村においては、上記キャンペーン等以外にも、県及び千葉県赤十字血液センターの協力を得て、広報紙やパンフレット等を活用し、住民を対象とした広報を計画的に実施するよう努めるものとする。

- ① 愛の血液助け合い運動（7月）
- ② 千葉県公務員職場献血推進月間（8月）
- ③ はたちの献血キャンペーン（1月～2月）
- ④ 千葉県献血推進強調月間（3月）

(2) 若年層を対象とした普及啓発

県及び市町村は、献血可能人口が減少しており、若年層の献血者も減少傾向が続いていることから、将来にわたって、献血者を安定的に確保するために、特に 10 代から 30 代の若年層を対象とした普及啓発に努める。

このため、県は、国が行う若年層向けの献血啓発資材として作成した大学、短期大学、専門学校等への入学生を対象とした啓発ポスター、高校生を対象とした啓発テキスト及び中学生を対象とした献血への理解を促すポスターの配布等に協力する。また、千葉県赤十字血液センターが行う献血の正しい知識の普及のための「献血セミナー」等に協力するとともに次のとおり啓発普及等を実施するものとする。

- ① 中学生向け啓発テキストの作成、配布
 - ② 中学生及び高校生の献血推進啓発ポスターの募集
 - ③ 公共交通機関のポスター広告等による若年層（主に 20 代・30 代）に対する献血広報の実施
 - ④ 若年層（主に 20 代・30 代）を対象とした献血推進啓発リーフレットの作成、配布
 - ⑤ 高等学校・大学・専門学校への献血協力の要請や献血広報等の実施
 - ⑥ コンビニのレジ液晶モニター等を活用した献血広報の実施
 - ⑦ SNSを含むインターネット等を主体とした情報発信の実施
- (3) 幼少期を対象とした対策
- 県は次世代の献血者を育てていくために親から子へ献血や血液製剤の意義を伝えることが重要であることから、親子で一緒に献血に触れ合えるよう、千葉県赤十字血液センターと協力し、啓発を行うものとする。

(4) 献血者が安心して献血できる環境の整備

県は千葉県赤十字血液センターが行う以下の取組を支援する。

- ① 献血申込者に不快の念を与えないよう、献血の受入れに際して丁寧な処遇をすることに特に留意する。その際、献血ができなかった者に対しては、その理由について分かりやすく説明するなど、その後の献血推進への協力に繋がるよう配慮する。また、献血者の個人情報を保護するとともに、国の適切な関与の下で献血による健康被害に対する補償のための措置を実施するなど、献血者が安心して献血できる環境整備を行う。
- ② 特に初回献血者が抱えている不安等を軽減することはもとより、献血者の安全確保を図ることが必要である。このため、採血の手順や採血後に十分な休憩をとる必要性、気分が悪くなった場合の対処方法等について、映像やリーフレット等を活用した事前説明を採血の度ごとに十分に行う。
- ③ 地域の特性に合わせて、献血者に安心、やすらぎを与える採血所の環境づくり等を行い、より一層のイメージアップを図る。
- ④ 新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、献血者が安心して献血できるよう感染症対策を十分に行うとともに、献血者への対策についての情報発信を適切に行う。

2 「献血感謝のつどい」の開催

県は、県民の献血意識の高揚を図るため、日本赤十字社千葉県支部との共催により、献血運動の推進に関し積極的に協力し、模範となる実績を示した団体、個人に対し表彰を行うものとする。

3 献血者確保のための協力

県及び市町村は、必要な時に安全で良質な血液を確保するため、千葉県赤十字血液センターが実施する次の献血推進活動に協力するものとする。

- ① 企業の集団献血の推進
- ② 献血協賛企業（献血サポーター）の募集及びロゴマークの普及、啓発
- ③ 献血 Web 会員サービス「ラブラッド」及びまれな血液型の献血者登録制度の推進
- ④ 学生献血推進ボランティアと連携した大学等における献血の推進

第3節 その他献血の推進に関する重要事項

1 献血推進施策の進捗状況等の確認・評価

県及び市町村は、血液事業の行政担当者が協議する会議を開催し、献血推進施策の進捗状況について確認及び評価を行うとともに、逐次、献血実績等を把握し、必要に応じ、献血推進施策の見直しを行うことに努めるものとする。

県は、次のとおり会議を開催するものとする。

- ① 保健所・市町村献血等主務課長担当者会議の開催（4～6月）
- ② 保健所献血推進連絡協議会の開催（2～3月）

2 全血献血の在り方

県、市町村及び千葉県赤十字血液センターは、血液製剤の安全性及び製造効率並びに医療需要を踏まえ、採血を行うものとする。

また、200mL 献血については、将来の献血基盤となる若年層の献血を中心に推進するものとする。特に、高校生等の初回献血時には、200mL 献血を推進するなど、できる限り献血を経験してもらうことに努めるものとする。

3 輸血用血液製剤の在庫水準の常時把握と不足時の的確な対応

県及び千葉県赤十字血液センターは、赤血球製剤等の在庫水準を常時把握し、在庫が不足する場合又は不足が予測される場合には、供給に支障を及ぼす危険性を勘案し、対応マニュアル等に基づき早急に所要の対策を講ずるよう努めるものとする。

4 災害時等における献血の確保等

県は、千葉県地域防災計画に基づき、災害時等における血液製剤の確保に必要な対策を講ずるものとする。

県及び市町村は、千葉県赤十字血液センターと連携して災害時や新興・再興感染症のまん延下の状況においても医療需要に応じた必要な血液量が確保されるよう様々な広報手段を用いて、献血への協力を呼びかけるとともに、広域的な需給調整を行う際など、採血事業者の取組を支援する。

5 血液製剤の適正使用推進

県内における適正かつ安全な輸血療法の向上を図るため、血液製剤を使用する医療機関、千葉県赤十字血液センターの協力を得て、医師等の医療従事者に対する説明会を実施するほか、調査及び検討を行うものとする。

【令和6年度市町村別献血目標】

表2

保健所名	市町村名	200mL献血		400mL献血		全血献血	成分献血	市町村別献血目標合計	
		献血可能 昼間人口 按分率	献血目標	献血可能 昼間人口 按分率	献血目標	献血目標	献血目標	令和6年度	令和5年度
千葉市	千葉市	17.852%	397	17.849%	12,910	13,307	-	13,307	13,253
船橋市	船橋市	9.520%	212	9.521%	6,887	7,099	-	7,099	7,113
柏市	柏市	7.050%	157	7.048%	5,098	5,255	-	5,255	5,139
習志野	習志野市	2.879%	64	2.881%	2,084	2,148	-	2,148	2,182
	八千代市	3.021%	67	3.016%	2,182	2,249	-	2,249	2,287
	鎌ヶ谷市	1.426%	32	1.425%	1,031	1,063	-	1,063	1,021
	計		163		5,297	5,460	-	5,460	5,490
市川	市川市	7.163%	159	7.187%	5,198	5,357	-	5,357	5,372
	浦安市	3.334%	74	3.331%	2,409	2,483	-	2,483	2,468
	計		233		7,607	7,840	-	7,840	7,840
松戸	松戸市	7.019%	156	7.032%	5,086	5,242	-	5,242	5,237
	流山市	2.593%	58	2.595%	1,877	1,935	-	1,935	1,798
	我孫子市	1.687%	38	1.683%	1,217	1,255	-	1,255	1,223
	計		252		8,180	8,432	-	8,432	8,258
野田	野田市	2.513%	56	2.505%	1,812	1,868	-	1,868	1,857
印旛	佐倉市	2.363%	53	2.360%	1,707	1,760	-	1,760	1,714
	成田市	3.303%	74	3.299%	2,386	2,460	-	2,460	2,469
	四街道市	1.261%	28	1.259%	911	939	-	939	913
	八街市	0.981%	22	0.982%	710	732	-	732	695
	印西市	1.751%	39	1.749%	1,265	1,304	-	1,304	1,220
	白井市	0.858%	19	0.852%	616	635	-	635	630
	富里市	0.752%	17	0.754%	545	562	-	562	563
	酒々井町	0.285%	6	0.284%	205	211	-	211	206
	栄町	0.221%	5	0.222%	161	166	-	166	158
計		263		8,506	8,769	-	8,769	8,568	
香取	香取市	1.071%	24	1.071%	775	799	-	799	805
	神崎町	0.081%	2	0.082%	59	61	-	61	62
	多古町	0.239%	5	0.239%	173	178	-	178	183
	東庄町	0.157%	3	0.157%	114	117	-	117	117
	計		34		1,121	1,155	-	1,155	1,167
海匝	銚子市	0.948%	21	0.950%	687	708	-	708	720
	旭市	1.030%	23	1.028%	744	767	-	767	773
	匝瑳市	0.547%	12	0.546%	395	407	-	407	409
	計		56		1,826	1,882	-	1,882	1,902

保健所名	市町村名	200mL献血		400mL献血		全血献血	成分献血	市町村別献血目標合計	
		献血可能 昼間人口 按分率	献血目標	献血可能 昼間人口 按分率	献血目標	献血目標	献血目標	令和6年度	令和5年度
山武	東金市	1.039%	23	1.040%	752	775	-	775	768
	山武市	0.726%	16	0.727%	526	542	-	542	531
	大網白里市	0.559%	12	0.558%	404	416	-	416	422
	九十九里町	0.199%	4	0.199%	144	148	-	148	148
	芝山町	0.236%	5	0.237%	171	176	-	176	160
	横芝光町	0.306%	7	0.306%	221	228	-	228	222
	計		67		2,218	2,285	-	2,285	2,251
長生	茂原市	1.425%	32	1.426%	1,032	1,064	-	1,064	1,087
	一宮町	0.173%	4	0.173%	125	129	-	129	126
	睦沢町	0.077%	2	0.077%	56	58	-	58	61
	長生村	0.175%	4	0.176%	127	131	-	131	129
	白子町	0.126%	3	0.126%	91	94	-	94	99
	長柄町	0.118%	3	0.118%	85	88	-	88	81
	長南町	0.117%	3	0.117%	85	88	-	88	88
計		51		1,601	1,652	-	1,652	1,671	
夷隅	勝浦市	0.232%	5	0.232%	168	173	-	173	180
	いすみ市	0.470%	10	0.471%	341	351	-	351	350
	大多喜町	0.147%	3	0.148%	107	110	-	110	110
	御宿町	0.075%	2	0.075%	54	56	-	56	59
	計		20		670	690	-	690	699
安房	館山市	0.753%	17	0.750%	543	560	-	560	562
	鴨川市	0.541%	12	0.542%	392	404	-	404	405
	南房総市	0.438%	10	0.438%	317	327	-	327	337
	鋸南町	0.079%	2	0.079%	57	59	-	59	62
	計		41		1,309	1,350	-	1,350	1,366
君津	木更津市	2.383%	53	2.378%	1,720	1,773	-	1,773	1,766
	君津市	1.389%	31	1.390%	1,005	1,036	-	1,036	1,048
	富津市	0.639%	14	0.640%	463	477	-	477	472
	袖ヶ浦市	1.115%	25	1.113%	805	830	-	830	826
	計		123		3,993	4,116	-	4,116	4,112
市原	市原市	4.556%	101	4.555%	3,295	3,396	-	3,396	3,376
市町村計			2,226		72,330	74,556	-	74,556	74,062
献血ルーム			1,680		80,749	82,429	72,717	155,146	152,520
合計			3,906		153,079	156,985	72,717	229,702	226,582

令和6年度千葉県赤十字血液センター献血受入計画

1 献血受入計画

県、市町村と連携し具体的稼働計画を策定する。

(1) 移動採血車1台の目標人員: 来場者 54人、献血者 47人

(2) 献血ルーム1日の目標人員: 来場者 81人、献血者 74人

(単位:人)

献血種別		目標人数		
		移動採血車 (10台) 稼働	献血ルーム (6ルーム) 稼働*	合計
全血献血	400mL	72,330	80,749	153,079
	200mL	2,226	1,680	3,906
	小計	74,556	82,429	156,985
成分献血	血漿		44,836	44,836
	血小板		27,881	27,881
	小計	0	72,717	72,717
合計		74,556	155,146	229,702

*祝日の決定状況により変更となる場合がある。

(参考1) 供給予測数

(単位換算)

製剤名	R6供給単位数
全血製剤	0
赤血球製剤	333,000
血漿製剤	127,002
血小板製剤	395,000
合計	855,002

(参考2) 原料血漿確保目標量

(単位:リットル)

原料名	確保目標量
血漿分画製剤用 原料血漿	50,478

2 推進事項

(1) 若年層献血の推進

- ・高校、大学、専門学校等の献血会場の増加に努める。
- ・献血セミナーの開催や小中学校の児童・生徒を対象とした職業講和、血液センター・献血ルームの施設見学、職場体験等の受入を行う。
- ・親子と一緒に献血にふれあう機会としての献血体験型イベント「キッズ献血」を感染症等の影響を考慮しつつ企画する。
- ・千葉県内の学生ボランティアで構成される「千葉県学生献血推進協議会」と連携を図り、学内献血や献血ルームなどで献血の啓発活動を行う。

(2) 400mL献血及び複数回献血の推進

- ・県内の医療機関からの要請に対応するため、献血協力団体等のご理解ご協力を得ながら400mL献血の推進、受入を進める。
 - ・200mL献血については、若年層を中心に推進・受入を行い、医療機関からの需要に見合う確保に努める。
 - ・複数回献血の推進については、天候等の影響の少ない献血ルームでの協力を促進するとともに、ショッピングセンター等の献血会場を定例化することで、安定的な確保に努める。
 - ・年間を通じて複数回献血にご協力いただけるよう、安心・安全な献血会場の整備を推進する。
 - ・ホームページ、SNSをはじめとした各種広報媒体を活用し、複数回献血の必要性の周知を図る。
 - ・献血Web会員サービス「ラブラッド」の新規登録加入を推進するとともに、会員に対する効果的な献血依頼要請及び定期的な情報配信を行い複数回献血率の向上に努める。
 - ・献血Web会員サービス「ラブラッド」アプリ機能を活用し、献血可能年齢(16歳～)未満の方でもラブラッドに登録可能な『プレ会員』に登録し、献血をより理解していただく機会をつくれるよう、献血セミナーや学内献血の際に推進する。
- ※プレ会員とは献血可能年齢未満でも、献血未経験でもラブラッドに登録できる機能。主に献血可能年齢までのカウントダウンの表示、献血に関するコンテンツの閲覧、献血可能年齢に達すると初回献血の予約が可能、イベントやボランティア情報を検索し応募できるなどの機能がある。

(3) 集団献血の推進(献血サポーター)

- ・県、市町村をはじめ、各献血推進協議会委員の皆様方と引き続き連携を図りながら、協力企業・団体の新規の開拓や献血協力回数が増回を推進する。
- ・献血にご協力いただいている企業、団体の更なるご理解を頂き献血協賛企業、献血サポーターへの参加募集及びロゴマークの普及、啓発を行う。

(4) 予約献血の推進

- ・献血会場での混雑を緩和するため、また、天候に左右されにくく安定的な献血者確保のため、献血ルーム・献血バスともに献血の事前予約を継続して推進する。

第 59 回献血運動推進全国大会の開催結果

1 目的

国内の医療に関する全ての血液製剤を献血により確保することを目指し、国民一人一人が献血の重要性を認識し、献血運動が全国で盛り上がることにより、特に若年層の献血気運を高め、我が国の血液事業のより一層の推進を図るため、本大会を開催する。

2 主催

厚生労働省、日本赤十字社、千葉県

3 後援

千葉県市長会、千葉県町村会、千葉市

4 開催結果

(1) 日 時 令和 5 年 7 月 26 日 (水) 午後 1 時 30 分～午後 4 時

(2) 場 所 千葉ポートアリーナ (千葉市中央区問屋町 1-20)

(3) 参加者 都道府県、日本赤十字社及び県内市町村関係者、献血功労者等
約 920 名 (出演者、応援職員を含む)

(4) 次 第

○ オープニング

○ 第一部 式典

・ 功労者の表彰

① 昭和天皇記念献血推進賞及び昭和天皇記念学術賞贈呈

② 日本赤十字社有功章

③ 厚生労働大臣表彰状及び感謝状贈呈

④ 千葉県知事表彰状及び感謝状贈呈

・ 血液事業用車両寄贈目録贈呈 (県内協力団体等から 3 台)

・ 体験発表 (献血推進ボランティア、輸血体験者)

・ 献血のうた

・ 誓いのことば (千葉県学生献血推進協議会)

○ 第二部 アトラクション

・ 佐原囃子

・ 吹奏楽演奏

(5) その他 会場では、献血推進啓発作品「ポスター」の入賞作品や大会「標語」募集の入賞作品の展示等を行った。